

「あいち森と緑づくり事業」事業評価報告書の要点について

1 主な事業の成果

着実な事業の実施により、計画どおりの成果をあげた。

- ・人工林整備…15,000ha の計画に対し、15,006ha の見込（100%）
- ・里山林整備…192 箇所の計画に対し、197 箇所の見込（103%）
- ・普及啓発（県産木材を使用した机・椅子の導入）…
70,000 セットの計画に対し、88,001 セットの見込（126%）
- ・都市緑化推進…2,049 件の計画に対し、2,205 件の見込（108%）
- ・環境活動・学習推進…900 件の計画に対し、956 件（106%）

2 県民アンケートの結果

① 「あいち森と緑づくり税」（事業）の継続について

- ・約 9 割が森と緑を守り育てる取組の継続に賛成。

② 税の負担額について

- ・約 7 割が現行の負担額（年額 500 円）は適当と回答。

③ 今後必要な取組について（上位 5 項目）

- ・防災のための森と緑づくり
- ・高齢化した人工林を若返らせる取組
- ・県内の里山林の整備
- ・都市に残る緑の保全
- ・県産木材・木製品の利用促進

○県民アンケートの実施概要

- ・調査対象 県内在住の 18 歳以上の男女
- ・標本数 3,000 人、回収数 1,107 人
- ・抽出方法 層化二段無作為抽出法
- ・調査期間 平成 29 年 7 月 19 日～8 月 2 日

3 「あいち森と緑づくり委員会」で示された課題

① 人工林整備

- ・間伐の必要な森林は依然として多く、引き続き間伐が必要である。
- ・森林資源の循環に繋がる植栽・獣害対策への支援が必要である。

② 里山林整備

- ・「生きがい」「余暇」など県民ニーズを捉えて県民協働で行うと良い。

③ 普及啓発

- ・第 70 回全国植樹祭の開催理念を継承し、木材の利用促進に一層取り組む必要がある。

④ 都市緑化推進

- ・市街地内の樹林地等について、その保全の仕方等を考えていく必要がある。
- ・都市の緑や花に関する企画・イベントへの助成があるとよい。

⑤ 環境活動・学習推進

- ・環境活動・学習は未来への投資として重要である。

⑥ 国の森林環境譲与税（仮称）

- ・国の森林環境譲与税（仮称）との調整が必要である。

あいち森と緑づくり委員会委員名簿

(五十音順、敬称略)

氏 名	所 属 ・ 役 職 等
あおやま ゆうこ 青 山 裕 子	公募委員
いとう み 伊 籐 たま真	グリーンアドバイザー愛知 代表
おかだ のりひさ 岡 田 憲 久	名古屋造形大学 特任教授
からさわ しんぺい 唐 澤 晋 平	公募委員
さいとう ゆうこ 斉 藤 祐 子	インタープリターズ・ユニット 森あそび本舗 代表
たけうち とおる 竹 内 徹	公募委員
たけだ みえ 武 田 美 恵	愛知工業大学 准教授
なかがわ みちこ 中 川 弥 智 子	名古屋大学 准教授
はら まさのぶ 原 正 信	愛知県指導林家
ひじい なおき 肘 井 直 樹	名古屋大学 教授

【任期：平成30年6月20日～平成32年6月19日】